



噴火警戒レベルを知ろう!

噴火警戒レベルを5段階でお知らせ。レベルに応じて行動してね。

予報

レベル1 火口付近では気をつけよう

火山ガスに注意

いつもガスを出している火山もある

異変に注意

異変に気づいたら、そこから離れて大人に知らせよう

警報(火口周辺警報)

レベル2 火口に近づてはだめです

レベル3 山に近づてはだめです

山や火口の近くからはなれる

山で知らせを聞いたら、すぐはなれる

見てみたいとかで、近づかない

特別警報

レベル4 高れい者等はひなん

レベル5 ひなん

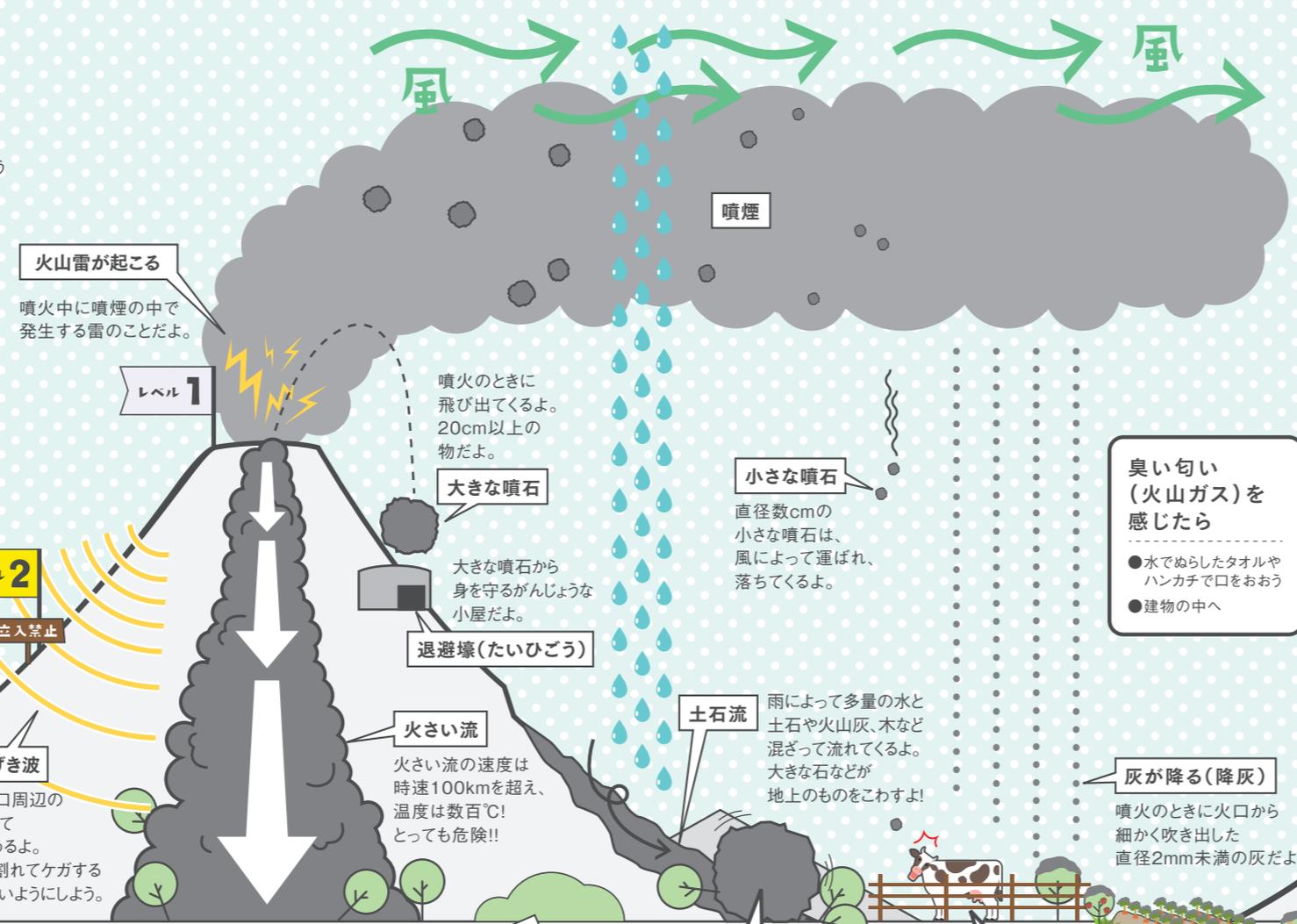
住んでいる所からはなれる

警察・消防・役場の指示にしたがうこと



噴火の災害を知ろう!

灰や噴石、噴火によるしょうげき波や土石流によって災害が発生するよ。



火山雷が起こる
噴火中に噴煙の中で発生する雷のことだよ。

噴火のときに飛び出てくるよ。20cm以上の物だよ。

大きな噴石
大きな噴石から身を守るがんじょうな小屋だよ。

小さな噴石
直径数cmの小さな噴石は、風によって運ばれ、落ちてくるよ。

臭い匂い(火山ガス)を感じたら
●水でぬらしたタオルやハンカチで口をおおう
●建物の中へ

灰が降る(降灰)
噴火のときに火口から細かく吹き出した直径2mm未満の灰だよ。

土石流
雨によって多量の水と土石や火山灰、木など混ざって流れてくるよ。大きな石などが地上のものをこわすよ!

火さい流
火さい流の速度は時速100kmを超え、温度は数百℃! とっても危険!!

噴火によるしょうげき波
火山が噴火すると火口周辺の空気が振動(空振)してしょうげき波として伝わるよ。振動が大きいと窓が割れてケガするので、窓にちかづかないようにしよう。

火山性微動
マグマやマグマにとけていた火山ガスが上がってくる際に発生する震動のこと。マグマが地下の水をあたためたり、マグマが移動することでも震動するよ。

孤立型微動
阿蘇山だけでおきる火山性微動で、火口直下のくさい所で発生する震動のこと。

土石流に気がいたら
●大至急がんじょうな建物の2階以上に
●流れてくる向きから直角方向に走れ走れ!

もしも小石(噴石)が降ってきたら
●がんじょうな建物の中へ
●そばにある物を頭にかぶせて守る

火山を知ろう!

なるほど! 火山

NARUHODO-KAZAN

火山活動解説資料のススメ!

火山のことをもっと知りたいアナタへ!

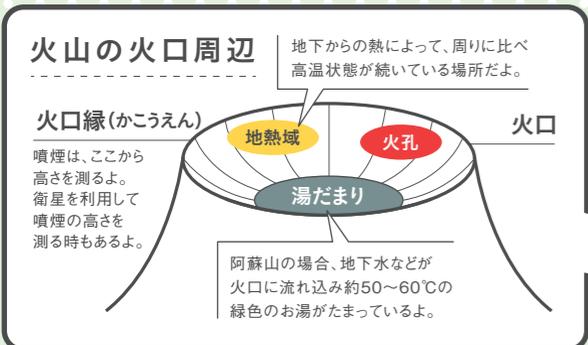
熊本地方気象台
〒860-0047 熊本市西区春日2-10-1
TEL:096-352-7740(代表)





火山の観測について知ろう!

火山の周りには、いろんな観測機器が設置してあって、気象台にデータがいつも入ってくるから火山から離れていても火山の状態がわかるんだ。

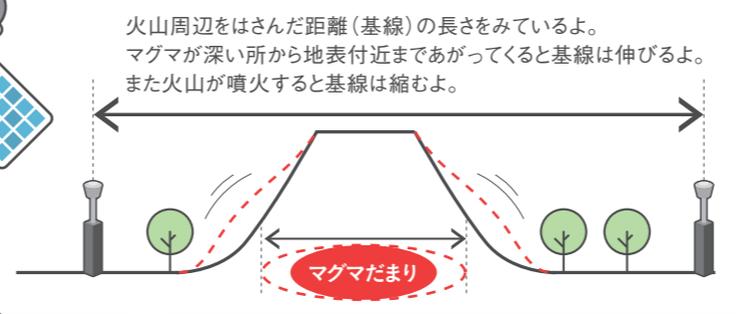


火山ガス観測

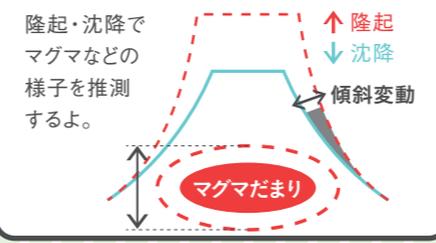
- 火口から出る火山ガスには、マグマに溶けていたさまざまな成分が含まれているよ。
- 車や船などに精密な機器をのせて、噴煙の下を何度もくぐることで火山ガスの量をはかるよ。
- 火山ガスが急に増えたり、減ったりする時は注意が必要だよ。

GNSS(GPS衛星利用)の距離測定

マグマが上昇してくると、地面が広がり距離が長くなる

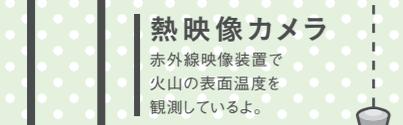


傾斜計で、山の傾きを観測



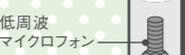
傾斜計

山の傾きを精密な機器で調べるよ。



空振計

天気が悪くても、空気の振動で噴火があったことがわかるよ。



地震計

地震が発生した場所や深さ、大きさ(規模)を調べるよ。マグマなどが動くときの機器でわかるよ。

気象庁



分析

発表

(火山の様子をお知らせ)

気象庁では「火山活動解説資料」を定期(月1回)と臨時に発表しています。

火山活動解説資料では、火山活動が「これまでどう経過して、現在どういう状態である。」かをお知らせしてるんだ。専門用語もあるけど、確認してみよう!

1ページ目のココに大事なことが書いてあるよ!!

- ポイント**
- いつ噴火したの? 噴煙の高さは? 大きな噴石や火さい流はどこまで達した?
 - 火山性地震は多いの? 少ないの? ● 火山性微動は大きいの? 小さいの?
 - 火山ガスの量は多いの? 少ないの? ● マグマの状態はどんなの?



気象庁のホームページで、わかりやすい火山用語の解説をしているよ。 [気象庁 火山用語集](#) 検索 できがしてみてね!

情報を集めてるよ

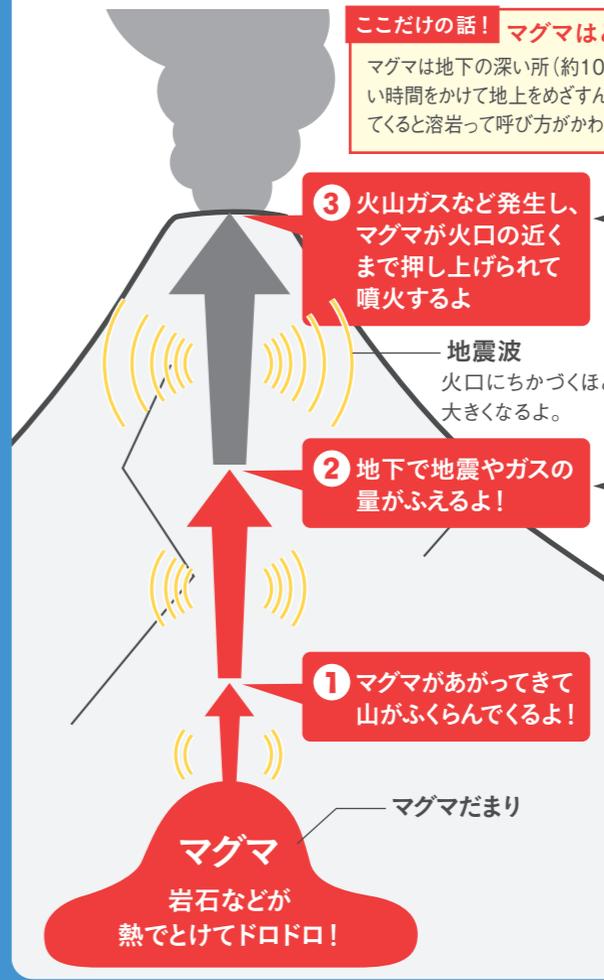


火山の噴火について知ろう!

噴火しなくても水蒸気や火山ガスなどの噴出物が出ているよ。

ここだけの話! マグマはどこから?

マグマは地下の深い所(約100~150km)で生まれるよ。マグマはかえるの長い時間をかけて地上をめざすんだって。マグマは地下にある時はマグマ、地上に出てくると溶岩って呼び方がかわるんだって。マグマがあることで火山が作られるよ。



3 火山ガスなど発生し、マグマが火口の近くまで押し上げられて噴火するよ

地震波
火口にちかづくほど大きくなるよ。

2 地下で地震やガスの量がふえるよ!

1 マグマがあがってきて山がふくらんでくるよ!

噴火したとき

灰色の噴煙や火山灰、溶岩もながれたり、さまざまな大きさの噴石が降り注ぎます。

火山による地震など

マグマの移動や地下水の沸騰などにより、岩石が割れたり、ずれたりして震動が発生することがあります。(火山性地震、低周波地震、火山性微動、孤立型微動など) 地上で「ゆれ」を感じるような地震がおこることもあります。

噴火していないときでも

- 白色の噴煙の正体は、ほとんどが水です! 火山灰などの噴出物はほとんど混ざっていません!
- 火山ガスの中で、気象庁では二酸化硫黄(にさんかいおう)について観測しています。
- 地下水が熱水となって出ることもあります。

火山のいいところ

火山には悪いことばかりではなく、私たちの生活にステキな恩恵ももたらしているよ!

地熱を利用したECOエネルギー



温泉がわくよ



水がおいしいよ



このリーフレット作成にあたり熊本県、阿蘇市、阿蘇小学校のご協力をいただきました。印刷用の紙にリサイクルできます。